令和６年度上半期

小平町水道事業　業務状況報告書

内　容

１　事業の概況
２　経理の状況
３　令和５年度決算

令和６年度上半期（令和６年４月１日～令和６年９月３０日）の小平町水道事業の業務状況は次のとおりです。

１　事業の概況

本年度上半期の給水人口は 2,679 人、配水量は 207,575 ㎥でした。

（１）給水状況

種　　別	当　期　末	前　期　末	増　　減
配　　水　　量　（㎥）	207,575	197,808	9,767
１日平均配水量　（㎥）	1,134	1,081	53
給　水　人　口　（人）	2,679	2,706	△ 27
有　収　水　量　（㎥）	147,633	143,732	3,901
有　　収　　率　（%）	71.12	72.66	△ 1.54

２　経理の状況

（１）収益的収入及び支出(消費税込み)

当期の営業収益は　36,850,850 円、営業外収益は 150,469 円、合計 37,001,319 円となり、給水収益は予算額 72,300,000 円に対し調定額 36,799,650 円で執行率は 50.9%になりました。

当期の営業費用は　27,167,913 円、営業外費用は 8,555,305 円、予備費は 0 円、合計 35,723,218 円となりました。

（２）資本的収入及び支出（消費税込み）

当期の資本的収入は 0 円で支出は 36,339,396 円となりました。

支出の内訳は、建設改良費 30,330,000 円、企業債償還金 6,009,396 円です。

（３）予算執行状況（消費税込み）

ア　収益的収入及び支出

収　入　　（単位　円/%）

科　　目		予算現額	執行額	執行率
第１款　水道事業収益		259,972,000	37,001,319	14.23
第１項	営　業　収　益	72,861,000	36,850,850	50.58
第２項	営 業 外 収 益	187,111,000	150,469	0.08

支　出　　（単位　円/%）

科　　目		予算現額	執行額	執行率
第１款　水道事業費用		233,313,000	35,723,218	15.31
第１項	営　業　費　用	213,507,000	27,167,913	12.72
第２項	営 業 外 費 用	19,506,000	8,555,305	43.86
第３項	予　　備　　費	300,000	0	0.00

イ　資本的収入及び支出

収　入

なし

支　出　　（単位　円/%）

科　　目		予算現額	執行額	執行率
第１款　資本的支出		283,000,000	36,339,396	12.84
第１項	建 設 改 良 費	141,500,000	30,330,000	21.43
第２項	企業債償還金	141,500,000	6,009,396	4.25

３　令和５年度決算

小平町水道事業会計は、地方公営企業法を適用し収益的収支と資本的収支に二分された勘定科目により会計処理を行っております。本年度の収益及び資本を合わせた総収入は決算額369,847,385円、総支出は決算額384,997,656円で、不足する15,150,271円の内訳は、収益的収支で9,842,042円、資本的収支で△24,992,313円となっており、資本的収支不足額は過年度分損益勘定留保資金15,139,095円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額9,853,218円で補填しました。

収入の主な内訳の全体に対する比率は、他会計補助金31.0%、企業債26.5%、給水収益19.7%、国庫補助金10.5%、長期前受金戻入8.4%、補償金2.2%、その他雑収益1.6%、特別利益0.1%の割合となりました。

支出の主な内訳の全体に対する比率は、建設改良費40.4%、減価償却費36.3%、原水及び浄水費12.9%、支払利息4.1%、企業債償還金3.7%、総係費1.2%、配水及び給水費1.0%、資産減耗費0.4%の割合となりました。

ア　収益的収支

営業収益については、給水収益が決算額72,865,750円で前年比2,703,245円減、受託工事収益は決算額0円で前年同額、その他の営業収益は決算額85,800円で前年比136,600円減、営業外収益については、他会計補助金は決算額114,560,000円で前年比59,610,000円増、長期前受金戻入は決算額30,919,281円で前年比22,876,724円増、その他雑収益は決算額6,060,606円で前年比85,548,914円減、特別利益については、過年度損益修正益が決算額386,348円で前年比皆増となっており、水道事業収益全体では決算額224,877,785円で前年比5,515,687円の減少となりました。減少した主な要因は、建設改良費に係る消費税還付金が減少したことによるものです。

営業費用については、原水及び浄水費は決算額49,694,381円で前年比10,829,793円減、配水及び給水費は決算額3,569,633円で前年比1,201,460円増、受託工事費は決算額0円で前年同額、総係費は決算額4,866,612円で前年比4,225,210円減、減価償却費は決算額139,851,767円で前年比83,452,084円増、資産減耗費は決算額1,364,250円で前年比633,250円減、営業外費用については、支払利息は決算額15,688,855円で前年比7,540,235円増、雑支出は決算額245円で前年比皆増となっており、水道事業費用全体では決算額215,035,743円で前年比76,505,771円の増加となりました。増加した主な要因は、小平浄水場の建設工事の完了に伴う減価償却費の増加によるものです。

損益計算書では、営業収益66,327,391円、営業費用194,769,979円で営業損失128,442,588円となっており前年比72,588,676円の増加、営業外収益143,734,409円、営業外費用15,689,100円で営業外利益128,045,309円となり、前年比72,201,609円の増加となっており、特別利益386,348円で前年比皆増となり、営業

全体としては当年度純損失10,931円で、前年度繰越利益剰余金400,156円と合わせ当年度未処分利益剰余金が389,225円となり、繰越利益剰余金としました。

イ　資本的収支

資本的収入については、企業債が決算額97,900,000円で前年比898,900,000円減、補償金が決算額8,069,600円で前年比皆増、補助金は決算額39,000,000円で前年比341,537,000円減となっており、資本的収入全体では決算額144,969,600円で前年比1,232,367,400円の減少となりました。減少した主な要因は、建設改良費に係る企業債及び補助金の減によるものです。

資本的支出では原水及び浄水設備改良費が決算額484,000円で前年比1,297,246,000円減、配水及び給水設備改良費は決算額154,971,000円で前年比61,790,000円増、資産購入費は決算額0円で前年比皆減、企業債償還金は決算額14,506,913円で前年比306,912円増となっており、資本的支出全体では決算額169,961,913円で前年比1,235,780,473円減となっており、資本的収支不足額は過年度分損益勘定留保資金15,139,095円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額9,853,218円で補填しました。減少した主な要因は、建設改良費の減によるものです。

本年度の総配水量は376,115㎥で前年比23,751㎥の減少、有収水量は287,791㎥で前年比19,025㎥の減少、有収率76.5%で前年比0.2ポイントの減少となっており、横ばいとなっております。

供給単価は230.17円/㎥で前年比6.26円/㎥増加、給水原価は623.85円/㎥で前年比216.83円/㎥増加、資本費は104.92円/㎥で前年比37.38円/㎥増加しております。また、料金回収率（供給単価÷給水原価）は36.9%で、依然として低い水準にあります。

水道料金の収納率については、現年度分98.9%で前年比0.4ポイント減少、滞納繰越分98.6%で前年比0.9ポイント増加、現年度分未収金の水道料金は786,385円となりました。今後においても徴収を強化し収納率の向上に努めてまいります。

次年度以降の事業につきましては、中長期的な各種計画に沿って効果的・効率的に施設の更新を行ってまいります。

今後においても、常に企業の経済性を発揮し、公共の福祉を増進するよう運営すると共に、安心安全な水道水の安定供給に努めてまいります。